

平成26年度
第2回 中原区区民会議

日時 平成26年10月15日（水）14：00～

場所 中原区役所5階 502・503会議室

- 1 開催日時 平成26年10月15日（水）午後2時3分～4時1分
- 2 開催場所 中原区役所5階 502・503会議室
- 3 出席者
(委員) 板倉委員長、橋本副委員長、成田副委員長、石川委員、井上委員、尾木委員、梶川委員、園部委員、反町委員、田中委員、塚本委員、長尾委員、仲亀委員、中森委員、仁上委員、萩原委員、松澤委員、松本委員、山崎委員
(参与) 市古参与、潮田参与、押本参与、松川参与、松原参与、吉岡参与
(事務局) 鈴木区長、小野副区長、今井課長、岩瀬担当部長、稲葉部長、大塚所長、蛭名副所長、諏佐室長、鈴木所長、八木課長
企画課：江口係長、倉見係長、大崎職員、野並職員
- 4 議 題 (1) 第1回運営部会報告（公開）
(2) 審議テーマ（案）「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」（公開）
(3) その他（公開）
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議内容

午後2時3分 開 会

1 開会

司会 皆さん、こんにちは。まだお見えになっていない委員がいらっしゃいますが、定刻を若干過ぎましたので、ただいまから第5期第2回中原区区民会議を開催させていただきます。私は、本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます中原区役所副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本会議は過半数の委員が出席をしておりますので、川崎市区民会議条例第6条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。なお、本会議は会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することになりますので御了解いただきたいと思います。

本日、事前に欠席の御連絡をいただいておりますのは、梅原委員から、所用により欠席との連絡をいただいております。また、参与の方々につきましては、大庭参与、川島参与、滝田参与の3名から、所用により欠席という連絡をいただいております。また、東参与につきましては、遅れての出席との連絡をいただいております。

それでは、9月に新たに中原区長に就任いたしました鈴木区長から御挨拶申し上げます。

区長 皆さま、こんにちは。御紹介いただきましたこの9月に中原区長に着任いたしました鈴木賢二です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の区民会議に先立ちまして、私自身のことも含めてお話をさせていただきたいと思
います。実は私は、今から8年前に中原区役所におりまして、ちょうどその年は、区民会
議を始めようという機運が非常に高まっていて、その試行の区民会議というのを1年間、
私が担当させていただきまして、まだちゃんとした制度もできない、制度設計に取り組ん
でいた時期でございました。そのとき参与として、今もお越しになっていただいている潮
田参与、市古参与、松原参与にも御協力をいただきながら、今とほぼ同じような形で、い
わば実験的な取組をさせていただいております。

その後、私は総合企画局の自治政策部と言いまして、区民会議の制度そのものを策定
し、運用する部署に異動になりまして、翌年に区民会議が本格実施になったときには、別
の立場でまた参加させていただいたという経験がございます。それから約8年が過ぎまし
て、途中で私も仕事は変わってきましたけれども、いろんな意味で市役所の中、それから
地域の皆様方から、区民会議に対してはいろいろな期待が寄せられたり、また場合によっ
てはどんなことをしているのということを知られたり、いろいろな形で市民の方々から注目
をされてここまで来ていると思っております。

そういった区民会議が、8年たってまたじかに皆様と区民会議を運営していくことができ
るということに感慨深いということと、非常に責任を重く感じているところでございま
す。ぜひ皆様方の御協力をもって進めてまいりたいと思います。

また、本日は第5期第2回区民会議と伺っております、委員の皆様、参与の皆様にお
かれましては、大変忙しい中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。きよ
うの全体の流れをちょっとだけ確認いたしますと、本日のこの会議におきましては、第2
期中原区区民会議の最初の審議テーマについて、委員の皆様にご決定していただきたいと考
えております。これまで準備会議ですとか第1回会議、運営部会等、委員の皆様にはさま
ざまな御意見をいただいております。委員の皆様におかれましては、本日提案されている
審議テーマ案につきまして活発な意見交換をお願いしたいと存じます。

このところ台風が相次いでやってきたり、10月ということで少し肌寒くなってきており
まして、今度の日曜日にはなかはら区民祭も開催されますが、朝晩の気温の差も大きくな
ってまいりましたので健康には十分御留意いただきまして、皆様と一緒に区民会議を進め
るとともに、また今週末の区民祭等のイベントには、ぜひ皆さん元気で出席していただ
ければと思っております。

簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願
いいたします。ありがとうございました。(拍手)

司会 ありがとうございます。それでは続きまして、事務局より本日の資料の確認をさ
せていただきます。事務局、よろしくお願いいたします。

事務局 それでは、お手元の資料を確認させていただきます。クリップでとまっている資
料がございますので、クリップを外して御確認いただければと思います。よろしくお願

いたします。

まず一番上が、本日の第2回中原区区民会議の次第でございます。

おめくりいただきまして、別添1、本日の席次表でございます。続きまして、別添2、委員及び参与名簿を添付しております。

次からが本日の資料となっておりまして、資料1、第5期区民会議第1回運営部会審議結果報告についてというA4、1枚の資料でございます。

資料2、第5期区民会議審議テーマについて（運営部会審議経過）、A3、1枚の資料でございます。

続きまして、資料3、まちの美化に関わる取組事例についてという資料でございます。A3で、左上をクリップでとめておまして、全部で3枚になっております。

資料4、A4で1枚の資料でございます。区民会議審議の流れという資料でございます。

資料5、第5期区民会議スケジュール（案）でございます。

資料6、課題調査部会についてというA4で1枚の資料でございます。

参考資料になりまして、参考資料1、第5期中原区区民会議第1回運営部会の議事録でございます。

参考資料2-1と2-2がホッチキスでとまっておりますけれども、A3で2枚の資料になっております。1枚目が、平成25年度「中原区地域課題対応事業」実施結果一覧表、2枚目は、平成26年度「中原区地域課題対応事業」計画一覧表でございます。

参考資料3、平成26年度区民会議交流会の開催について（案）でありまして、A4で、左上にホッチキスでとまっている資料でございます。

参考資料4、なかはら区民会議だより第22号、先日本お届けさせていただいているかと存じます。

幾つかチラシを添付させていただいております。まず、参考資料5「第18回なかはら福祉健康まつり」のチラシをつけさせていただいております。

続きまして、参考資料6「高齢者の見守り支え合いについて考える」というワークショップの御案内でございます。11月20日と12月4日の2日間で行われるもののチラシでございます。

参考資料7、なかはらメディアネットワーク企画「秋のイベントラリー」についてのチラシをつけさせていただいております。雨で中止になったイベントもございますが、これからはイベントが行われますので、ぜひ御覧いただけますようお願いいたします。

資料としては以上でございますが、本日は委員からの提供資料がございまして、委員の皆様と参与の皆様のお手元には御用意をさせていただいておりますので、御紹介させていただきます。

まず、中森委員からの御提供資料「かわさき国際交流ニュース SIGNAL」の秋号

でございます。おめくりいただきますと中に幾つかチラシがございまして、タンゴの御案内と、国際理解講座、こちらが日本語と中国語によるチラシが中に入っております。SIGNALの5ページに、中森委員が取材通訳をされたフロンターレのジェシ選手のインタビューが載っておりますので後ほど御参照ください。

続きまして、塚本委員から御提供いただいた資料が2つございまして、まず、「コスギフェスタ2014」について、10月25日にございますけれども、10月25日から11月30日にかけて武蔵小杉駅前通り商店街で街歩き&食べ歩きということで、チラシが1枚ございます。

最後に、第4回「コスギフェスタ2014」の公式ガイドブック、こちらも御提供いただいております。

資料については以上でございます。

司会 ただいま資料につきまして確認をさせていただきましたが、資料が不足している方はいらっしゃいませんか。よろしいでしょうか。

それでは、ここからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

2 会議録確認委員の選任

板倉委員長 皆さん、ちょっと雨が降って大変だったと思いますが、お集まりいただきましてありがとうございます。特に先ほど区長からお話がありましたように、大型台風が2週間続けてやってきて大変だったようで、ただ中原区には大きな被害もなかったように考えております。

それから、きのうは真夏日に近いような暖かい気温で、きょうはまた一気に10度以上下がるということで、温暖化のせいなのか何かわかりませんが、こういう異常気象に近いような状況が起こっております。皆さんもふだん活動なさっているので、体を大切にしてくださいと活動を活発化していただきたいと思っております。

それから、先ほどもお話がありましたように、10月19日に、「なかはら“ゆめ”区民祭」が開催されますので、皆さまの御協力と御支援をよろしくお願ひしたいと思っております。

本日の会議ですが、先ほどお話がありましたように、まず審議テーマ、検討テーマを決めるというのが1つございます。それから、課題調査部会の部会員を選任するというこの2つの問題でございます。特に審議テーマについては運営部会でいろいろもめたというか、もんだというか、非常に様々な御意見が出まして、まとめるのにいろいろ皆さんが苦労したということなので、その辺の説明を少し詳細にさせていただきたいと考えております。ちょっと時間がかかるかと思いますが、会議を円滑に進めるために皆さんの御協力をお願いしたいと思っております。

それから、本日の区民会議終了後に、市の総合企画局から、新たな総合計画の策定につ

いての説明を区民会議委員の皆さまにしたいというお話がございますので、お時間の許す限りお残りいただければと思っております。

では、まず会議録確認委員の選任をいたしたいと思えます。前は松本委員と山崎委員にお願いしたと思うんですが、今回は順番ということで、萩原委員と松澤委員に、よろしくお願いしたいと思えます。

3 議題

(1) 第1回運営部会報告

板倉委員長 では、議事を進めていきたいと思えます。

まず、8月21日に開催された運営部会について、運営部会副部長であります橋本委員から御報告をよろしくお願いしたいと思えます。

橋本副委員長 それでは、8月21日に開催されました運営部会について報告いたしますので、皆様にお配りされております資料1を御覧いただきたいと思えます。また、このほか参考資料1として議事録も配付されておりますが、お読みいただく時間はないかと思えますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

まず、運営部会におきましては、第5期区民会議の審議テーマを選定するに当たりまして、検討する審議テーマの数について審議いたしました。その結果、過去の区民会議を経験した委員などから、2年間で3つの審議テーマを検討する場合、各テーマの審議時間が短くなり審議が十分に行えなかった感があるというような意見がありました。そこで今期の区民会議では、2年間の任期の間に2つの審議テーマについて審議することを提案させていただきます。

なお、2つ目の審議テーマについてですが、1つ目の審議テーマに関する提案や取組がまとまった時点で再度検討の上、決定することを提案させていただきます。検討時期につきましては、今年度末から来年度初め頃を予定しております。その際には、準備会議や第1回本会議、それから第1回運営部会等において、これまで皆様からいただいた御意見も含めて検討材料とさせていただくわけですが、その後、緊急課題等が発生した場合などにも対応できる可能性を残しておきたいと考えております。

次に、区民会議の1つ目の審議課題について検討いたしました。まず、審議テーマを考える上での背景、中原区の特徴の1つとして、再開発事業等による小杉駅周辺地域を中心とした転入人口増加傾向が挙げられます。子育て世代も多い傾向があり、そのため比較的孩子もも多く、子育てニーズの増加につながっているとの指摘もこれまでの会議で何人かの委員さんからいただきました。この中原区の特徴を踏まえ、3期、4期に引き続きまして普遍的な課題として上がってきましたのが、「地域コミュニティにおける交流・助け合いの強化」でございました。

新たに転入してこられた人も、以前から地域に住んでいる方々も、ともに地域に愛着を

持って長く住み続けていただきたい。そのためには、価値観や世代、生活習慣、地域への思い等が異なる住民同士の交流、相互理解の促進を図り、互いに助け合える地域コミュニティを形成していくこと、そして伝統文化や古くからの商店街、再開発事業により新しく生まれた大型商業施設など、中原区の地域資源の魅力の再発見と共有を推進することで、地域への愛着を育んでいただきたいと考えました。

これまで準備会議、全体会議やアンケート等でいただいた委員の皆様の意見が比較的多かった分野は、「子育て」「防災」「外国人のコミュニティ参加」「障害者関係」「ごみ問題・排出マナー」などでした。これらの中から審議テーマを絞り込むに当たり、どのようなテーマがふさわしいかを話し合いました。

そこで、検討する際のポイントとして挙げられたのは、「多様な区民や団体が主体的に一体となって取り組める」、「誰にでもわかりやすいテーマ」であることです。今期の区民会議においては、障害者団体からの推薦委員の方や外国籍市民の活動に関わっていらっしゃる委員にも参加していただき、そのような支援を必要とする人の意見を取り入れた取組の必要性も指摘されました。また、町会、市民活動団体、企業、商店街など、多様な主体が関わりやすいテーマがよいとの意見も出されました。これは、商店街や町会・自治会、市民活動団体、企業団体などの推薦委員が多くいらっしゃる区民会議の組織の特徴を最大限に生かすことにもつながるのではないかと思います。さらに、取組による目標や成果がイメージしやすい、見えやすいテーマがよいとの意見も出されました。

子育てについては意見が多かった課題の1つでありましたが、第3期、第4期と2期続けて取り組んできたことなどから、少し視点を変えまして、連携的な動きの中で取り組んでいってはどうかというような結論になりました。

さらに意見交換を重ね、結論として、今回提案したい審議テーマにつきましては、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」でございます。これは、ごみ問題に限らず地域の美化やエコの活動などに多様な区民、主体とともに総合的に関わっていく取組を推進しようとするものであります。選定理由としましては、まずごみやエコなどの問題は全ての区民が当事者であることです。区内のあらゆる場で区民の力を合わせて取り組めるテーマであると思います。地域コミュニティの結束が高い地域ほど、よりきれいな地域が実現できるのではないかと、そしてその成果も目に見えやすいのではないかとという意見も出されました。

取組の方向性や狙いですが、まず中原区の普遍的なテーマである地域コミュニティを常に踏まえ意識し、地域や団体、連携の取組の成果を情報発信、発表することで地域の結束力を示したり、互いの活動を自慢し合ったりしながら、地域の魅力発信につなげたいという思いがあります。また、子育てや教育の場では、第4期の提案を受けた取組として実現した「子育てふれあいカフェ」での子育て親子との展開や、中高生の環境教育などと絡めた取組なども検討できると思います。

このように、さまざまな区民、主体と連携して相乗効果を高めながら、一部の団体だけでなく、区全体の取組として盛り上げていきたいと考えています。そうすることで、区民会議自体の知名度も上がり、浸透していくのではないかと考えております。このほか商店街や企業、自治会・町内会、市民活動団体、学校や家庭、外国籍の市民、障害者の方など、区民会議委員のネットワークを生かしたさまざまな団体を取組の輪を広げていければと考えました。

もちろん、取組を通じて環境問題への意識、知識、配慮を啓発し、高めることも狙いになりますが、ともに取り組み、連携することで、地域への意識や参加、愛着を育むことも狙っていく、そんなテーマにと考えております。

以上のような審議の経緯から、運営部会として、今期区民会議の1つ目の審議テーマとして、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」を提案するという結論に達しました。

ちょっと説明が長くなりましたが、第1回運営部会の審議報告については以上でございます。

板倉委員長 どうもありがとうございました。今回の運営部会では、先ほど橋本副委員長からお話がありましたように、非常に多くの提案というか、内容が出されておまして、このテーマに至るまでの経緯の補足説明ということで、事務局がつくった資料から説明をしていただきたい。複雑なので、ひとつよろしくお願いします。

事務局 それでは、資料2を御覧いただきまして、補足説明をさせていただきたいと思っております。

ただいま橋本副委員長から運営部会での審議内容について御報告をいただきましたとおり、資料上部のほうに書いてございますが、第1回の区民会議で皆様から非常にさまざまな御意見をいただきました。そこから今回審議テーマの案を決定した経過について、イメージしやすいように模式図の形でこの資料をつくらせていただいております。

まず、第1回の区民会議において皆様からテーマの候補をいただきまして、運営部会におきましては、先ほども御報告の中にありまして、資料左上に図で示しておりますが、中原区の現状・課題を踏まえまして、「地域コミュニティにおける交流・助け合いの強化」を大きな課題といたしました。

具体的に審議テーマを絞るという中で、ふさわしいテーマのイメージについて審議いただいたところでして、子育て、あるいは地域コミュニティという分野に関わる主体としましては、親子・家庭、あるいは新旧住民といったものがございますが、さらに外国籍市民ですとか障害をお持ちの方、皆さんが一体となって関わられるようなテーマが必要だということ、また、町内会に限らず、商店街・企業、あるいは学校も含めて多くの区民が関わっていけるようなテーマ、また、子育てふれあいカフェなどの過去の区民会議における提案ですとか、さまざまな分野における取組との連携、多様な区民が集まる場での展開といっ

たところを含めて、ふさわしいテーマのイメージとしては、「多様な区民・主体がともに取り組める」こと、また、「誰もが参加しやすいというイメージ」とされました。さらに、区民会議の取組として行うということであれば、目標・成果がイメージしやすいテーマとすべきであるというような御意見も出たところでございます。

そういったところから、大きなテーマといたしましては、地域コミュニティの強化、具体的な取組として、多くの区民が関わって参加しやすい、また成果が見えやすいということで、まちの美化、ごみ問題というところに今回焦点を当てたものでございます。これは第1回の区民会議で皆様から出た意見の中でも、例えばごみの排出マナー、モラル、あるいはリサイクルも含めてですけれども、教育の場、子育てといったようなところともつなげられるテーマではないかという御意見がございました。

このような「まちをきれいにする」ためのルールとか取組について、区の中でもさまざまな立場の方、あるいは団体が一体となって考えて実践するなどによって、地域コミュニティの交流につなげていければということで、今回審議テーマの案として、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」をお示しいただいたところでございます。

資料2の説明については以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。今、運営部会からの説明及び事務局の補足説明もありましたが、今回の審議テーマを検討するに当たっては、第1回目の区民会議において皆様からいただいた意見をおまとめしました。それから、検討するに当たっては、中原区の現状とか問題点、課題等の確認を1回行いまして、「地域コミュニティにおける交流、助け合いを深める」という観点を審議テーマの内容に盛り込んで、これを欠かせない問題として捉えようということになりました。その上で、子育て、交通、ごみ排出マナーとか美化活動、防災、それらの課題テーマについて入れられるものは入れていきたいということでございます。

先ほどもありましたように、審議テーマについては、多様な区民、各団体、主体がともに取り組めるもの、要するに協働の考え方です。それから、誰もが参加しやすい、目標・成果がイメージしやすいという視点を考えた上で判断していきたいと思っております。

1つ目の審議テーマとして、今回、「コミュニティ、みんなでまちをきれいに」というテーマを掲げてやっていきたいと思っております。きれいにといいのはいろんな解釈ができると思いますので、その辺をいろいろと織り込んで、いろんな活動につなげていければいいかなと思っております。

それでは、このテーマについて何か御意見がございませうか。質問等でも構いませんが、運営部会でも苦労したところがございますけれども、どなたかございませうか。

松本委員 「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」というテーマは、私は理にかなっていると思います。といいますのは、やはりまちがきれいになれば犯罪もだんだん少なくなるということは、どなたも言っていることです。二、三日前のテレビ番組で警察〇

Bの方も話ししておりましたけれども、とにかく、まちをきれいにするということで、統一美化活動ですね。私の町会でもやっておりますのが、各班ごとにマンションの方もちゃんと公園に出てきて掃除することで、1つの地域において、お互いにマンションの中でも顔見知りになっていない方が一緒になって、こういう方が住んでいたと知り合うこともあるので、地域コミュニティにおける交流と、また、まちもきれいになるということで利点があります。また、ごみの集積所が汚いところは、空き巣や犯罪も起きやすい。だから、そういうのを1つ1つ、まちをきれいにするということで、具体的にはまた後ほど説明しますけれども、テーマとすれば私は理にかなっていると。

中原区は少しずつきれいになっており、捨て看板、それから金融業者の張り紙、張り札も多様にあったのが少しずつきれいになってきました。まちが小杉の開発によりましてきれいになると同時に、そういうのは並行して、犯罪を抑止するとか、これからごみの問題も絡んできます。そういうことで理にかなっていることだと思います。

以上です。

萩原委員 私も賛成で、前回のときにほとんどの方が、まちのコミュニティ力を上げたいということをおっしゃっていたと思うんです。やはり松本委員がおっしゃったように、防災とか防犯で一番大事なのは、まちのコミュニティがいかにできているかということであって、それがまたまちをきれいにすることによって、みんなが協力し合って、またそれによって顔と顔がわかるようになってくる。団体とか企業もそれに乗かって一緒に何かをやっていくということが結束を強めると思いますし、区民会議そのものがそもそもそういう形ででき上がっているの、ここで取り上げるテーマとして、子どもたちも含めることもできますし、とてもいい題ではないかと思っております。

板倉委員長 ありがとうございます。賛成の御意見が多いようですが、ほかにございますか。——それでは、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」をテーマとして審議していきたいと思えます。

(2) 審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」(案)

・まちの美化に関わる取組事例について

板倉委員長 それでは、審議テーマになりました「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」について議論を進めていきたいと思えます。

これに入る前に、今後の参考として、取組事例について事務局から説明をしていただきます。

事務局 それでは、ただいまテーマとして「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」が決定されましたので、このテーマの関連資料の説明をさせていただきたいと思えます。

資料3、まちの美化に関わる取組事例についてという資料でございます。今現在行われ

ている取組を全て網羅しているということではございませんが、概括的にまとめさせていただいているものですので、御確認いただければと思います。

簡単に説明をさせていただきますと、1番は、クリーングリーンなかはらキャンペーンで、中原区独自で行っている美化活動のキャンペーンでございます。平成16年度から行っております。ことしは3月に駅前の清掃キャンペーンについて、平間駅周辺で行われています。また、先ほど松本委員からもございましたとおり、町内清掃については各町会でも活動しているところでございます。

その中で、3番では、NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントによる取組といたしまして、早朝清掃を月1回開催されていますので、そちらも御紹介させていただきました。さらに、先ほどもお話に出ました市内統一美化活動、また、多摩川の美化活動についても、資料の中に御紹介させていただきました。

6番につきましては、少しなじみがないかと思われそうですが、地域緑化推進地区という制度がございます。町会単位で地域の中の緑化推進についての計画を立てていただいて、市の認定を受けて推進していただくという制度でございます。中原区につきましては、井田みすぎ地区という井田三舞町と井田杉山町を合わせた地区でございますけれども、こちらが1地区認定されているところでございます。

7番から9番までにつきましては、まちづくり推進委員会での取組を御紹介させていただいているものでございます。

また、中原区の花クラブ実行委員会で、花いっぱい中原事業を手がけていただいております。

さらに、なかはら20年構想委員会では、ダンボールコンポスト講座を開催していただいております。パンジーによる花回廊構想を推進していただいておりますけれども、ダンボールコンポスト講座についても手がけていただいているところでございます。

12番は、フロンターレの選手会で行っている美化活動、多摩川エコラシコは、フロンターレの選手会が主催で、平成20年から選手とサポーターによる清掃活動、それに併せて体験学習ということで、ごみ分別の体験学習も行っているというものでございます。

次のページからは、主に市の取組になっておりまして、例えば一番上、13番の出前ごみスクールは、市内の小学校、幼稚園等を対象に行っているものでございまして、その下のふれあい出張講座につきましては、住民組織ですとかPTA等の団体を対象に行っているものでございます。

以下、市の計画に基づく制度、取組等を載せさせていただいておりますので、後ほど御参照いただければと存じますが、3ページで少し触れさせていただきたいのが、31番のふれあい収集で、みずからごみの排出場所までごみを出すことが困難な高齢者、障害者の方に対して、所定の場所まで直接収集をしに行くというサービスを行っているということを御紹介させていただきました。

また、32番から34番までにつきましては、公園、街路樹の関係でございまして、公園緑地の愛護会、あるいは公園の管理運営協議会、街路樹等愛護会といった制度を御紹介させていただいているところでございます。

駆け足でございますが、説明は以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは意見交換に移りたいと思いますが、ただいまいろいろ事例が発表されましたので、これらについて審議テーマの御意見を伺いたいと思っております。特に視点を広げてそれぞれの団体活動の強化とか組合せとかネットワーク化とか、少し違った視点から見るのもまたいいのかなと考えております。

それでは、御意見のある方、挙手をお願いします。

ないようでしたら、またいつものとおりで順番に少しお聞きしていきたいと思えます。

石川委員、これについて何か御意見はございますか。どちらかという内容でしょうか。こういうものやってはどうかなどといったことが主体になるかと思えますが、御意見をよろしくをお願いします。

石川委員 今説明をずっと聞いていたんですけれども、それ相応のもので、こういうものをしっかりやっていけばそんなに問題はないと思うんです。かといって、新たな何かをやりたいというようなものは、今ここでいきなり頭に浮かんでできません。すみません。

板倉委員長 おっしゃるとおりかもわかりません。井上委員、お願いします。

井上委員 私も同じでして、今の段階でこれをやったらこうだというのはないんですけれども、この区民会議の式次第を見ていくと、区民会議審議の流れとかがあって、またそこで話し合っていくとは思いますが、一般的な話になってしまうんですけれども、そこでもう少し課題を洗い出した上でやっていくのがいいのかなと思えます。

ただ、ふさわしいテーマのイメージというところの、誰もが参加しやすい、区民・主体が共に取り組めるということは、これをやるからにはやっぱり知らしめないとけないというのがすごく大事になってくるのかなと思えますので、今回の話し合っていくところに、一般的に言うと広報という部分をしっかりやっていくのが大事なのかなというのが、今お話を聞いたところで感じたところです。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、梶川委員、お願いいたします。

梶川委員 今これを拝見させていただきまして、もう少し前に送っていただいたらじっくりと読んで検討できるかなと思えました。ごみの美化についてふだん感じていることは、やはり分別になってから、うちの近所ですとすごくごみが少なくなったんですね。ですので、それはもう大変よいと思えます。あとは、井上委員たちがおっしゃったことと同じようなことです。

板倉委員長 園部委員、お願いいたします。

園部委員 先ほど板倉委員長のほうから、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれい

に」が審議テーマになるけれども、きれいというのはいろいろな意味がありますねというお話があって、なるほどなと思ったんです。

例えば9月末に市内統一美化活動がございました。各自、家の周りとか、私たちの場合は何人か集まりまして、町内にあるすぐ近くの児童公園をお掃除したんです。それはとてもきれいになりましたけれども、その後でちょっと雑談になるんですね。そうしますと、あなたもそうだったの、こうだったのということで、たまたま清掃に参加しましたけれども、そこでコミュニケーションと申しますか、小さなコミュニティと申しましょうか、人と人がお話をするという場が持ててすごくよかったと思うんです。ですので、きれいにするという具体的な行動もさることながら、その中でそこに集まった人たちがいろいろ話合いをして、皆さんの気持ちがこの人はこういう人だわといったつながりができてくる、きずなというとちょっとオーバーですけども、そういった方向に進んでいかれたら、美化というのはとてもいい題材というか、道具になるのではないかと思います。

以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、反町委員、よろしく申し上げます。

反町委員 よろしくお願いいたします。私も、今回のテーマは非常に賛成の立場でございました。その中で、先ほど説明にもありましたが、今回のまちをきれいにするということには、区民の皆さん全員が当事者であるという説明がどこかにあったかと思うんですが、本当にそのとおりだなと思います。

せっかくですので、私の立場から、仕事柄、環境とかそういったことに取り組んでいらっしゃるイベントごととかをお手伝いさせていただくことが多いんですが、リサイクルとかと一緒にエコという部分でPRされていくことが多いんです。今回拝見して思っていたのが、広い意味ではというか、エコ活動というのもまちをきれいにする。それは景観だけではなくて、例えば空気とか騒音といった部分も含めて住みよいまちになるという意味では、例えば私が今まで経験してきた中で、取組例として主にエコに関係するところではありますが、いろんなものに使用するバイオ燃料とかをみんなで勉強してみたり、PRしてみたり、今電気自動車があると思うんですけども、何かのイベントのときに、普通は電気がないところだと発電機を使ったりするものを、発電機のかわりに電気自動車を自動車会社から提供していただいて、そういうのをちゃんとアピールして、排気ガスは出ないわけですからどれだけ環境に優しいかとか、そういったことをPRしたり、電気の話ばかりになってしまうんですけども、イベント会場で、自転車のペダルをこいで発電できる参加型の企画とかいろいろあるので、何かイベントのときにはそういうのも含めてPRできたらいいのかなということ。

もう1つありまして、基本的に、これまでの取組事例で御紹介いただいたものは、清掃活動とかリサイクル、モラルアップみたいなのが中心かと思うんですけども、そういう活動を区民の皆さんが取り組んだというのが実感できるような仕組みができればいい

かなと思うんですね。例えば1日この活動に参加したら明確に何ポイントじゃないですけども、自分がどれだけ参加しましたというのが実感できるような、私はお子さんをイメージしているんですけども、スタンプがもらえるとかでもいいと思うんですけども、そういう基準とか仕組みが何かつくれたら、興味も関心ももう少し深まっていくのかなと思いました。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。では、田中委員、お願いします。

田中委員 私からは、ちょっと古い話になるんですけども、環境保全局の緑化協定というのが昔あったんです。昭和53年が私どもの町会が加入した時期でございまして、この中で花いっぱい運動、道路を含めて清掃活動を始めたんです。昭和55年に、家の近くの中学校の子どもと一緒にやろうじゃないかということになりました。私ども町会が始めて2年ほどでそういう関係になったので、住吉中学校の地域の9つの町会・自治会の中で、年に1回でございしますが、当時は2回あったんですけども、子どもたちを自分のまちに帰して、自分のまちの清掃をするということをスタートしました。

それで、花いっぱい運動。町会によっていろいろな方法はあるんですけども、いろいろ地形が違うものですから、私ども町会は道路に鉢を置きました。それで町をきれいにしようということでやってきたわけでございます。それがどんどん広がりまして、花いっぱい運動で学校でもふれあい活動という話になりました。これは細かい話ですが今までずっと続けてきておりまして、ことしも既に終わりました、34回を数えています。そういう活動を今でもやっています。

その内容はどういうものかといいますと、子どもが自分のところに帰って、まちを自分たちで掃除しながら花をきれいにする。終わった時点でみんなでカレーパーティーをやる。こういうことでやってきておりますが、子どもたちも非常に喜んでやっていて、これは素晴らしいことだと、こんなふうに考えております。

それで、学校の教育の狙いでございしますが、地域愛を育てるということ、地域の方と触れ合うこと、奉仕の精神を養う。この奉仕の精神というのはどういうことかといいますと、福祉、環境への興味を高めるとか、そういう内容になっておりまして、これにつきましては地域も非常に期待しながら、これからも活動していくということでございます。

もう1点でございしますが、平成22年12月でございしますが、私は、小学校のあるクラスで地域について話してくれという依頼があって行ってきました。やはり地域の中で一番子どもから話が出るのは、街灯の問題、さっき出たごみの問題、道路の駐車の問題とか、そんなことが出ましたが、そのときに私が一番気になったのが、たばこの問題です。たばこの問題が女の子からも非常に多く出ました。

ちなみに、私も朝、子どもたちの挨拶運動をやっていまして、子どもたちが登校する前に道路をきれいにしようと思って始めたポイ捨てたばこ拾い、これは今でも続けています

が、4年ほどたちました。今、私はその関連資料を持っていますが、時間がなくなるので出しませんが、非常に本数が多い。少なくとも年間で私は1,500本拾います、多いときは1,700本。1日平均で5本台です。5.7本ぐらいになりますか、少ないときでも4本、多いときで1日13本。拾う範囲は、私の自宅の前の道路は、幅が約10メートルあって中学校までが100メートルぐらいあるので、その間の距離でそれだけ拾います。一番多くて13本ありました。ゼロということはほとんどないと思います。

ということで、この近くの小杉かいわい、たばこのポイ捨ての問題もあると思います。こういうことを含めまして、この地域だけではなく、区全体がこういうことをみんなで気をつければいいんじゃないかと考えております。及ばずながら、子どもたちが登校する時間までにポイ捨てたばこだけは拾います。子どもに見せたくないということでやっておりますので、あと二、三か月でちょうど4年になりますが、どうぞ皆さん、これを参考にいただければ大変ありがたいと考えます。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。尾木委員、お願いいたします。

尾木委員 運営部会の皆さん、いろんなテーマを絞り込むのに御苦労されたなという足跡が資料で見えるんですけども、この地域コミュニティを現時点でテーマに選ぶのは非常に時宜を得ているなと私も思っております。というのは、まだ開発も道半ばで、これから北側のほうも大分マンションができるわけで、新しい人口もどんどん増える予定になっていますので、転入者も多いわけでございます。今、中原区、まさに小杉駅周辺はそういう特殊な事情にあると思うので、新しく来られた方と前から住んでいらっしゃる方の交流というのは非常に大事なことだろうと思うので、このテーマについては私も賛成します。

ただ、「みんなでまちをきれいに」というのは、委員長がおっしゃるように、深読みすればいろんなバリエーションで考えられるので、これはこれでいいんですけども、この資料、まちの美化に関わる取組事例については苦心して一覧表にさせていただいたんですけども、むしろ主眼は地域コミュニティであって、新しく入ってくれる方と既存の住民の交流を区役所がどう努力しているかというところが見えるような資料もつくってもらいたかったなと思っております。今後そうされると思いますので期待はしておりますけれども、それは今やっておかないと、遅くなるとますます難しくなってくると思うんです。ですから、今のうちにそういった取組について、役所に責任をかぶせるわけではございませんけれども、いろんな事例があると思うんです。今私の隣にいらっしゃる塚本委員もNPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントで活動されていて、地域交流を企図として、先日、私も呼ばれて行きましたけれども、ああいう取組をどんどんいろんなところで展開していくほうがいいのかなと。もちろんごみも大事ですけども、美化は結構根づいておりますので、むしろ新しい住民たちをどう取り込むかというようなことをもっと我々は考えて、アイデアを出したほうがいいのかなという感想でございます。

以上です。

板倉委員長 それでは、塚本委員、今お話がありましたように、交流というところでは大いに苦勞されていると思いますので、御意見をお願いします。

塚本委員 こういった美化に関しては、いろんなコミュニティの課題を包含できるテーマとしては、確かにいいテーマかなとは思いますが、この資料にもあるとおり、いろんな地域で既にこれだけ多くの活動をやっているから、では、区民会議として新たに取り組むということかというと、一工夫要るといえるか、普通のことをしても埋没してしまうような感じになってしまっているから、既にこうやって取り組んでいる活動の中の課題だとか成功事例、きょうは事前にインプットできていませんが、既に活動している中の組合せとか、うまく区として取り組むことによって区民会議で取り組む価値をつけていけるようにできるといいなとは思っています。

我々も、3番目の清掃活動をやっていますが、いわゆるマンションの住民の人たちがこういう美化活動に取り組む上での課題というのは、やっぱりマンションに新しく住んできた人というのは、どっちかという、前は戸建てに住んでいて何が嫌だったかって、お当番のいろんな活動が嫌だから私マンションに住んでいるんですという人たちもたくさんいて、美化とか清掃なんかはその象徴的な活動ではあるんですけども、管理費を払っているから管理会社がやってくれるものだと思っていたり、私のNPO団体もまだまだ全員に理解されているわけではないので、役所の外郭団体か何かと思って、平和公園を掃除しろとかいう電話もかかってきたりするんです。そういうまだ人任せ的な文化もあるので、そこについては工夫をしていかないと、美化活動のお当番をやってくださいとマンション住民で強制できない分、子どもたちがちょっと楽しめるとか、終わった後に豚汁が食べられるよ、お菓子のつかみ取りができるよといったちょっとお楽しみを入れるとか、禁煙の重点区域となるように有志の方、一緒にやりましょうといった、わかりやすいテーマで呼びかけるとかして、少しずつ理解者というか、一緒にやっぺいこうねという人たちを増やしている状況です。今のところは結構、多いときで50人とか100人とか、毎月1回が大分定着してきていて子どもたちを集めることによって少しずつ増えてはいるんですけども、マンションに大勢住んでいる中で言うと参加してくれる絶対人数はまだまだ少ないので、そういう活動に参加してくれる人を増やすために、ほかの地域でやっぺいしている成功事例なんかをお聞きしつつ、区でどうやったら取り組めるかということについて考えていきたいと思っています。まとまらない意見ですが。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、仲亀委員。

仲亀委員 私は、申しわけないんですけども、あまり地域の集まりなどにはなかなか出ていけないといいますか、もう四、五年前になると思いますが、地域の方が、町内会館で交流みたいなイベントをやっていますので出てくださいと言われてたんです。町内会館が四、五軒先なものですから、家へ来て言っぺいくださったんですけども、すみません、

私、障害がありますのでと言ったら、あ、じゃ、結構ですと言われたんです。それで、私もそのときに、えっと思ったんです。障害があるからといっても動けないわけじゃないわけですから、何かそのときに一言、何か手助けしましょうかとかといった言葉がちょっと出たら私もほっとしたんですけれども、そのときの言葉が、じゃ、結構ですと言って、そのまま玄関を閉めて帰られてしまったので、そういった地域性もあるのかもしれませんが、交流ということに関しては私の場合は非常に遮断されている場合が多いんです。このような状況で、特に最初に私が申し上げたように、障害者であっても、何かを感じる事とか、やれることはやれる、そういうことがたくさんありますので、私自身、区民会議委員になってくださいと言われたときに、できないと拒否しようと思いましたがけれども、今ここに出席させていただいて区民会議委員の皆さんの御意見を伺っていて、本当に中原区のために皆さん動いてくださっているんだなということ、自分自身で痛切に感じますので、皆さんに、こういった区民会議などの取組があつて中原区を暮らしやすいまちにと盛り上げているんだよといったことをもっと広められたら、広められるような交流ができればすばらしいなと思っています。

以上です。

板倉委員長 貴重な御意見、ありがとうございます。それでは、長尾委員、お願いいたします。

長尾委員 先ほど田中委員のお話を伺いまして、子どもたちと地域の方と一緒に清掃活動をしているというのはすばらしいと思いました。私も実はいただいた資料を見ながら、そういうふうに子どもたちと大人と一緒に何かできないかなと思ったんですけれども、実際に活動されていてすごくいい効果が生まれているというお話を伺って、とてもうれしい気がしました。

区民会議としては、学校ですとか、それぞればらばらに活動しているところを結びつける役割ができるんじゃないかなと考えています。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。中森委員、お願いいたします。

中森委員 今回も運営部会に参加して、このテーマを決めるのにみんなで大変苦労しまして、「みんなでまちをきれいに」と言っているんですけれども、美化がメインではなくて、これをきっかけとしてできるだけもっと区内で交流ができればいいなと思って、1回のイベントで終わるのではなくて長年続けられるように、皆さんがそれに無理やり参加しないといけないのではなく習慣となっていけるように、自分が住んでいるところがきれいになると自分も気持ちよく住んでいけるし、長年住んでいけるという気持ちになるんじゃないかと思ってこのテーマをみんなで決めてきたので、皆さんと一緒にいろいろ考えて、もっともっと中原区がすばらしいまちになるようにしていきたいと思っています。

外国籍の人間の目線でも、なかなか地域でコミュニティに関わりづらい部分もあつて、

これをきっかけにもっといろんな交流ができたらと思って、私もこれに賛成しました。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。仁上委員、お願いいたします。

仁上委員 人間誰も関わる一番身近な問題で、本当に共通の問題としては、手短にあるのはごみ問題だと私は思うんです。誰もそのごみに関わっていませんという人は全くいないはずで、それがまたコミュニティとしてきちんとルールが守られているかいないかというのは、ある程度、地域の差があると思うんです。

地域は、昔と今とは当然違いますが、今、地域の中で交流がないというところは独身者の居住するアパート。築20年、30年たった民間のアパートがあちこちにあるんですけども、そこへ行ってみると、昔と違うのは表札がほとんど掲げられていない、誰が住んでいるかわからない。個人情報ではないけれども、表札さえ出していないくて、このアパートにはどなたが、何人住んでいるんだろう、全くわからないというような建物が結構目立つんです。そこのごみ集積所というのは大体、ほとんどごみ出しのルールが守られていない。きょうは間違いなくごみの収集はないにもかかわらず、山のように出されている箇所がところどころに見受けられる。

実は、私の近所でもそういうところがあって、何とかならないかなということで、アパートの住人のことはわからないんですけども、自分なりにチラシをつくって投函して、みんなできれいにしましょうというような優しい文章を書いてみたんですが、しばらくしても一向に直らない。でも、確かに徐々にごみが分別されて量が少なくなってきた、あるとき私がその周辺を掃除していましたら、その住人から話しかけられた。まさにこれが交流であるかなという気がいたしまして、その後、みんなできれいにしましょうという話しかけをしましたら、たちどころにきれいになって、今は本当にきれいな状態で過ごしている。それが1つのコミュニケーションにもつながっていくのではなからうかと。まちを見ていると、まだまだそういう箇所があちこちにあると思います。

きれいなところは、本当にまちのコミュニティの中あるいは近所同士でルールが守られている感じがしますが、その交流の比較的少ない世代といいますか、今話しましたけれども、お子さんとか高齢者というのは一応まちの中でいろんな形でつながりがあるんですけども、単身者でたまたまここに住んで会社勤めをしているという方がこの周辺にはたくさんいらっしゃって、そういう人たちの交流の場というのは、お祭りをやりますよといってもほとんど出てくることはないだろうし、何か1つ、ごみ問題みたいな、まちをきれいにするということでちょっと話しかける、あるいは誘いかける小道具といっちはおかしいんですけども、そういった機会をつくるというのもごみ問題としての別の一面があるのではなからうかという気がいたしました。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。お願いします。

萩原委員 さっきもちょっと話したんですけれども、塚本委員がおっしゃるみたいに、新しくマンションに住まわれている方は、近所つき合いをしたくないからこういうマンションを購入したという方が多いんですけれども、ぜひ何か参加することによって、逆にちょっといいことがあったり、ちょっと知り合いが増えたり、ちょっと楽しかったり、何かそういうきっかけになればすばらしいなと思うし、この取組事例をここまで見ると、結構それぞれのところで頑張っているのが、意外とお互いに知らなかったり、これに一般の方も参加している、例えばエリマネさんの第1土曜日の朝というのは、地域の方とかも参加しても大丈夫なものなんですよね。

こういうすばらしい取組があちこちでされているのが意外にわかっていなかったりすると、こういうのも区民会議の発信力でまとめていって、こういう団体が一生懸命取り組んでいる中で、多分課題が出ていっちゃうと思うんです。そういうところで、ここがすごく困っているんだとか、こういうふうに行っているんだけどもうまくいかないということ、例えばアンケートなどで聞き出して、その解決に取り組むことができないかということも必要でしょうし、反町委員がおっしゃるみたいに、例えばポイント制にして、子どもたちが本当に喜んでやってもらえるように、区としての取組というもの、やっぱり区民会議ならではという何か新しい視点が必要だろうと思うので、その辺は工夫の出どころかなと思います。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、松澤委員、お願いいたします。

松澤委員 そうですね、このテーマはいいかなと思っています。2点あるのかなと思っています。1点目は、みんなできれいにしていくということで、コミュニティをつくるのも重視しながらということですが、これだけ資料の表に取組事例が多くあるということ、私も実は同じように初めて知ったところがありますので、やっぱりこれらの取組を知らせていくことが1つ、例えばこの組織を強化するといったことなどがあるかなと。

正直、私の所属する労働団体も、9月28日に、我々の場合は、丸子橋の下に250人のボランティアを集めてやりました。1時間半で、市で用意してもらったごみ袋の数が100袋ぐらいいきました。さらに壊れた自転車、折れた傘などいっぱい捨ててありました。1年前に清掃しているはずですがそれでもその状態なので、多分まだまだ掃除をする場所はいっぱいあるのかなという気はします。同じようにポイ捨ての話も、毎年のようにうちの組合の中で結構上がってきていまして、一向に減っていないというか、すぐにごみが出てしまうというところがあるので、この辺の活動を知ってもらってどんどんみんなに参加してもらおうという、せっかくある組織ですから活用するのがいいかなというところです。

一方で、そういったごみは何で出るのだろうと思ったんですけれども、中原区民が出しているだけじゃないのかなという気も結構するんです。そうすると、捨てられたごみに収集する活動にみんなで行き組んでいくことも1つの手ではありますが、例えばこの中にもちらほらありました、マッチ一本火事のもとのパトロールじゃないですけども、何かし

らちょっとマナーアップする取組を地域みんなでやっていくようなことも仕掛けられたらいいのかなという気がしました。

以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。松本委員、お願いいたします。

松本委員 台風18号、19号と続いて来ております。また、まちのほうは今、U字溝からL字溝に変わっております。Uの溝のところに特に落ち葉が詰まってきます。そこをきょうも道路公園センターの方が、それは私のほうからちょっとお願いしたことなのですが、雨の中作業していただいています。たしか10年前、台風22号、23号のときもそうでしたが、落ち葉が詰まって、町会の中では清掃はしていますが、その都度、ポイ捨てのたばこの吸い殻が中に詰まっております。また、小杉周辺の清掃をしたときも、ほとんどたばこの吸い殻の固まりのようでした。そういった面でも、たばこの吸い殻の除去について、1つの地域の美化ということがあります。

それと、やはり地域コミュニティに情報をお知らせするには、町内の掲示板ということになっております。町内の掲示板もそれぞれ町会の費用で新しくなっておりますが、問題は市の掲示板なんです。市の掲示板は、板が腐ったり破損されて防風よけがありません。ビニールをかけるとか、そういう知恵は働かせていただいていないんですね。町会の掲示板はA4の形で、役所から来るのも中原警察署からも、消防署からの掲示物も大体A4に変わっております。A4のものを縦に3段並べれば、かなりの枚数ができるわけです。市の掲示板はA3のタイプになります。風よけがついていないので、掲示物が台風のとくに全部飛ばされてしまうわけで、だから、何のために張ったかわからないわけです。また、板が腐ってきているとか、場所によってはいろいろあります。語弊はありますけれども。

そういうのを市のほうで考えていただけないでしょうかと区役所にも申し入れをしたんですが、その都度、これをこうするという適切な解決になっていないわけです。私は区内でも見ておりますけれども、一部ですが、これが町内の汚れるもとになっているのは確かなんです。そういう問題を1つ1つ、市、区の行政と協力して解決していかなければならない。

また悪いことに、風よけがなくてはがれてくると町内で清掃するわけです。それでまた、掲示物を画びょうで張ったので画びょうが飛んで落ちるわけです。そうすると、そこを通った自転車のタイヤがパンクしてしまうんです。そういう弊害もあって、市の掲示板が必要ないところは撤去するとか、そうすると景観はよくなるわけです。そういうのも、地域コミュニティとまちをきれいにするということの1つだと思えます。

それから、資源を活用するという話もありましたが、子どもたちに希望を持たせようと、ごみの中に新聞、雑紙、段ボール、古着、それからミックスペーパーが混じるのを、私の町会を中心に、できるだけ集団回収のほうに回しています。その集団回収で集まったお金で、子どもたちの子どもみこしを5年計画でつくりましょうということで今進行して

おりまして、90%ぐらいのお金はたまっております。このように、ごみをみこしにするとかテーマを決めて1つずつやれば実行できるわけなんです。私も昔、子ども会のころから、資源ごみの回収で、綿菓子の機械を買いましょう、ポップコーンの機械を買いましょうと取り組んでいて、それ以前は5,000円ぐらい払って幼稚園から機械をお借りしていた時期があったんですが、そういう形で30年前に入手したものを今うちの町会の子ども会が使っているとか、1つのものにかえるということのテーマでやればできないことはないわけです。そういうことをやっていく必要があると思います。

子どもに夢を持たせるということの意味があるわけですが、今回のテーマはまちもきれいになるということですから。よく、ごみの集積所で非常に出し方が悪い、そこに集まるカラスが悪いとか猫が悪いとか言っていますが、猫とかカラスは決して悪くはないんです。人間なんです。出す人間のモラル、マナーがないんだということを私はその都度言って、戸建ての人にも話をしながらやっているような状況です。1つ1つ、1人1人の努力と実行、継続というのが必要ではないかと思っておりますので、その都度、また発言させていただきます。よろしくをお願いします。

以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、山崎委員、お願いいたします。

山崎委員 最後なので、皆さんがおっしゃったことがほとんどですけれども、何をしたら一番きれいになるのかと考えてみると、まちの中のきれいなものを見つけることも大事なかなと思ったりしています。ですから、学校の緑化に例えば市民がもっと積極的に関わられるようになって、一緒に子どもたちと緑化できるとか、公園の掃除をしながら自然観察ができるとか、きれいにする人にメリットがあるということも大事なのではないかと思っています。例えば緑化地区の散策をしてみましようとか、それから、田舎のコミュニティというのはとても開放的なので、私も田舎育ちですけれども、平気で隣のおばさんが、うちの庭がきれいねと言って入ってきて、お花はどうやって育てると聞いて帰っていきます。だから、そういうお庭を開放するようなイベントも1ついいかなとちょっと思っています。具体的にはそんなところです。

板倉委員長 ありがとうございます。成田委員は何かございますか。

成田副委員長 皆様方のお話を伺いまして、まとめると、本当にまちの美化から住みやすいまちを考えるというのが今回のサブタイトルではないかと思っております。美しいまちと言いますが、美しいとは何だろうか、それはやはり快適さということで、快適に過ごせるということは暮らしやすさということで、それは次世代にわたって暮らしやすいまちを考えるということになるのではないかと思っております。暮らしやすい、それが次世代にどんどん伝わっていくということは持続可能な社会ということで、これは環境教育ということで学校では子どもたちに向けていろいろやっているようですが、大人と子どもがその活動に参画するというのが一番大事ではないかと思っております。住みやすいまちを考えるときに、私

は子育て支援という立場で、比較的若い世代の方々と触れ合う機会が多いので、やはり新しい方々が考えているまちの美化とは何だろうというところも踏まえて、何か企画ができればいいかなと思います。

代表的には、先日の台風の後にも拝見するのですが、特に武蔵小杉駅から向河原駅周辺にかけての再開発地域に、大風が吹いた後とか大雨の後にビニール傘の残骸が非常に多く捨てられているということが、特に建設が始まってから捨てられる傘の数がだんだん増えてくるように思えます。風にあおられて骨が折れてしまった傘を持ち帰らずにそのまま捨てていかれてしまうということが多く見られるということで、私などもひどいときは、1往復当たり14本見かけたことがあるんです。そういったビニール傘の問題1つについても、それを捨てていく人が悪いのか、それともビニール傘という安価なものが悪いのか、それともなぜそこに大風が起きるのかといったようなことを踏まえていくと、いろいろそこに絡めて考えていかなければいけない問題があると思うんです。そういう新しい形の1つのルールづくりですとか、それからみんなで環境を考えていかなければならないといったようなテーマも入ってくると思いますので、新しい視点を盛り込みながら、この会議を通して発信できればいいかなと思っています。

すみません、最後に長くなりました。

板倉委員長 どうもありがとうございます。

本テーマに関する意見交換は以上とさせていただきます。なお、本日の皆さんの意見に関しましては、これから発足させます課題調査部会の議論の中に反映させていただくということで進めてまいります。

4 課題調査部会委員の選任

・区民会議審議の流れ

板倉委員長 それでは続きまして、課題調査部会委員の選任に移ります。

その前に、課題調査部会の位置づけといいますか、区民会議審議の流れについて、事務局からの説明をお願いいたします。

事務局 それでは、区民会議審議の流れについて説明をさせていただきますので、お手元の資料4をごらんいただきたいと思います。区民会議審議の流れにつきましては、今回初めて委員になられた方もいらっしゃると思いますので、改めて説明をさせていただきます。

運営部会でございますが、今回、準備会議、第1回区民会議とこれまで進めてまいりましたが、そこで出された意見を踏まえまして、各委員より、地域の活動事例等を紹介していただきました。また、それをもとに検討テーマの選定をしたところでございます。そして、本日の区民会議で検討テーマの現状について把握をしていただく、そのために、事務局から示させていただきましたけれども、改めて地域活動の紹介をさせていただきます。また、それぞれ検討テーマや課題解決に向けた御意見を伺ったところでございます。

今後は、テーマが決まったということで課題調査部会を発足いたします。今期はテーマが2つということですので、課題調査部会につきましては、1テーマおおむね4回ぐらいを考えているところでございます。審議事項でございますが、検討テーマ解決に向けた意見の整理及び取組の検討ということで、本日いただいた御意見等を参考に、課題の抽出、また取組に向けた検討、実際に取り組んでいる方々の実体験等を説明していただき、こういう中で絞り込んでいきたいと考えております。

その後、また改めて運営部会を開催いたしまして、課題調査部会の審議報告、また区民会議の運営について検討を進めてまいります。その後、改めて区民会議を開催いたしまして、課題調査部会の審議の経過及び結果について報告をさせていただきます。また、検討テーマ解決に向けた取組の提案、例えば区民会議としての取組、地域と行政の協働による取組、また行政による取組など、これらの取組を提案させていただきます。正式に区民会議の取組として決定していくという流れでございます。

続きまして、お手元の資料5をお開きいただきたいと思います。A3の資料でございます。前にも説明させていただいたと思いますが、区民会議のスケジュール案でございます。第2回の区民会議が10月15日、本日行われているところでございますが、検討テーマ案「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」が決まりましたので、今後審議を進めていくこととなります。

資料の中ほどより下に課題調査部会という欄がございますが、今回の決定を受けまして、今後第1回の課題調査部会を11月中に行います。続きまして、第2回の課題調査部会を12月に開催したいと考えております。第2回運営部会、それから年が明けて第3回区民会議を開催いたしまして、第3回課題調査部会を1月下旬ないし2月上旬に開催する予定としております。第3回運営部会を経まして、最後、第4回区民会議で今回のテーマについての取組等が最終的に決定することとなります。第4回区民会議につきましては3月中旬ないし下旬を予定しているところでございまして、第4回区民会議終了後に、区長に対して中間報告をすることとなっております。

その後、第4回課題調査部会で次のテーマについて検討を進めていくという流れで、第5回以降は、次のテーマに向けて同じようなスケジュールで進めていく。これが第5期中原区区民会議のスケジュール案でございます。

説明は以上でございます。

板倉委員長 資料6の説明もお願いします。

事務局 それでは続きまして、課題調査部会について御説明をさせていただきますので、お手元の資料6を御覧いただきたいと思います。

課題調査部会は、区民会議において検討された審議テーマについて、本会議における意見の整理、課題に関する必要な情報収集や調査、課題解決に向けた取組の検討を行うことを目的としてございます。構成員は10名程度でございまして、テーマによって適宜委員を

選出するものとしてございます。主な審議事項といたしまして、区民会議で取り組む地域課題の検証、調査、区民会議における委員の意見を整理し、課題解決に向けた具体的な取組の検討を1テーマで3回ないし4回行う予定でございます。審議の流れは、記載のとおり、区民会議で決まったテーマについて課題調査部会で検討調査、課題解決に向けた取組の検討を行い、その内容を改めて区民会議に報告するという作業を行うものでございます。

なお、区民会議では、課題調査部会の報告を受けまして、課題解決に向けた取組の提案を行うものでございます。

説明は以上でございます。

板倉委員長 どうもありがとうございました。

それでは、委員選出に入りたいと思います。委員の選出に当たりましては、区民会議条例施行規則第4条第2項におきまして「部会に属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する」と規定されております。まず、副委員長1名につきましては、課題調査部会への参加をお願いしたいと思います。

成田副委員長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、今回のテーマであります「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」について、参加したい、関心のある方がございましたら挙手をしていただけるとありがたいのですが。——特になければ委員長案ということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 それでは、成田委員、仁上委員、萩原委員、中森委員、塚本委員、松本委員、井上委員、園部委員ということでお願いしたいと思うんですが、皆さん、どうでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 それでは、それで調査部会は進めたいと考えております。今選任されました委員の方につきましては、本会議及び市の総合企画部による説明が終わった後、申し訳ありませんが、504会議室にお集まりいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

5 その他

- (1) 平成25年度地域課題対応事業実施結果及び平成26年度地域課題対応事業について
- (2) 平成26年度区民会議交流会について
- (3) なかはら区民会議だより第22号について

板倉委員長 それでは、事務局からその他の資料の説明をよろしく願いします。

事務局 それでは、お手元の参考資料2-1、平成25年度「中原区地域課題対応事業」実施結果一覧表及び参考資料2-2の平成26年度「中原区地域課題対応事業」計画一覧表に

ついて説明をさせていただきます。

まず、参考資料 2-1 をごらんいただきたいと思います。A 3 の表 1 枚でございますが、昨年度中原区が行った事業の実施結果一覧でございます。

まず、全体を把握していただくため、資料の裏面をごらんいただきたいと思います。一番下の 3 行をごらんいただきたいと思います。3 行のうち、一番上が中原区地域課題対応事業のうち、区独自事業の合計でございます。右の欄に平成 25 年度の予算額、決算額が記載されております。平成 25 年度予算額は 5,544 万 9,000 円でございます。これは区が自主的に企画立案し、区民の参加と協働により地域の課題を解決する事業の予算額でございます。決算額は 5,072 万 2,000 円余となっております。その下の段の地域対応事業のうち、局区連携事業でございますが、これは区役所が主体となり局と連携して地域の課題を解決する事業でございます。予算額は 2,261 万 4,000 円、決算額は 2,029 万 7,000 円余でございます。区独自事業と局区連携事業を合わせた 7,806 万 3,000 円が平成 25 年度の地域課題対応事業予算でございます。決算額は 7,102 万円余となっております。

この予算を中事業 8 事業にどのように配分し執行したのかというのが、この一覧表でございます。

資料の表に戻っていただきまして、I の安全・安心まちづくり事業でございますが、個別の事業といたしましては、自転車と共生するまちづくり事業や中原区放置自転車対策事業などを実施いたしました。II の地域福祉・健康づくり事業でございますが、橋わたしによる地域福祉の活性化事業やなかはら福祉健康まつり実施事業などを実施いたしました。III の総合的な子ども支援事業でございますが、中原区子育てネットワーク事業、中原区子育て支援推進事業など、さまざまな子育て支援の事業を実施したところでございます。IV の環境まちづくり事業でございますが、区民の手で花いっぱい中原事業や中原区 S T O P ! ヒートアイランド事業を実施いたしました。

また、裏面に参りまして、V の地域資源活用事業でございますが、In Unity 開催事業、歴史シンポジウム事業、スポーツを通じた地域活性化推進事業など、中原区の歴史や文化、音楽、スポーツ資源等を活用した事業を中心に実施したところでございます。VI の地域コミュニティ活性化推進事業でございますが、市民活動活性化事業や大型集合住宅住民組織支援事業など、地域コミュニティの形成に向けた事業を中心に実施いたしました。

VII の区役所サービス向上事業及び VIII の地域課題対応その他事業につきましては、区役所のサービス向上施策や市民提案型事業など、区民会議や地域の方々と連携しながら、地域課題の解決を図る事業を実施したところでございます。

なお、個々の実施結果内容につきましては、後ほど御参照いただければと思います。

以上が地域課題対応事業の実施結果でございます。

続きまして、平成 26 年度地域課題対応事業について説明をさせていただきますので、参考資料 2-2 を御覧いただきたいと思います。

全体を把握していただくために、改めまして資料の裏面の一番下3行をごらんいただきたいと思います。一番上の中原区地域課題対応事業のうち、区独自事業でございますが、右の欄に平成25年度予算及び平成26年度予算が記載されております。平成25年度の予算額は5,544万9,000円、平成26年度は5,724万円となっております。その下の欄の地域課題対応事業のうち、局区連携事業の平成25年度予算は2,261万4,000円、平成26年度は1,723万6,000円でございます。区独自事業と局区連携事業を合わせた7,806万3,000円が平成25年度の予算額、平成26年度予算額は7,447万6,000円となっております。

資料の表に戻っていただきまして、平成25年度に比べ、新設及び事業終了となった事業を紹介させていただきます。Ⅰの安全・安心まちづくり事業におきましては、区民会議課題でありましたナンバー9の地域防災人材発掘・育成事業が事業終了となっております。また、Ⅲの総合的な子ども支援事業では、ナンバー12の幼稚園・保育園・小学校連携事業が新設事業となっております。Ⅳの環境まちづくり事業でございますが、ナンバー2の環境まちづくり支援事業が名称変更となっております。Ⅵの地域コミュニティ活性化事業でございますが、ナンバー4の中原区情報発信推進事業が名称変更となるとともに、ナンバー6の大型集合住宅住民組織支援事業が事業終了となっております。また、ナンバー8の学びの場を核とした青少年参加型地域コミュニティ創造事業が新設されてございます。Ⅷの区の新たな課題即応事業につきましては、区役所の新たな課題に適切かつ速やかに対応するとともに、区の機能強化を図るために新設された事業でございます。

なお、個々の事業内容につきましては、後ほど御参照いただきたいと思います。

続きまして、区民会議交流会について説明をさせていただきます。お手元の参考資料3を御覧いただきたいと思います。

平成26年度区民会議交流会の開催でございますが、開催目的でございますけれども、各区の委員が集まり、互いに取組状況や運営方法の情報交換を行うとともに、相互の連携を深めることで今後の区民会議の発展につながることを目的に7区の区民会議交流会を開催するものでございます。これは、毎年1回開催しているものでございまして、今年度は平成27年2月9日（月）、18時から19時半を予定しております。また、終了後から20時30分までは懇親会を予定しているところでございます。例年、中原区役所を会場としておりましたが、今年度はエポックなかはら7階の大会議室を予定しております。

内容といたしましては、区民会議委員同士の交流を行うことを目的として、グループごとの意見交換、また交流会終了後、会場を移して懇親会を行う予定でございます。その他の内容につきましては、現在検討中でございます。

参加者につきましては、各区の区民会議委員、市長、各区長、市民・こども局長、関係職員となっております。

1枚おめくりいただきまして、区民会議交流会の参加確認表でございます。こちらに氏名をお書きいただきまして、出欠のチェックをしていただき、10月27日までに企画課宛て

に御提出をいただきますようよろしくお願いいたします。

こちらから説明は以上でございます。

事務局 それでは続きまして、参考資料4、なかはら区民会議だよりをごらんいただきたいと存じます。

こちらにつきましては、区民会議開催ごとに広報としてつくっているものでございまして、今期、第5期の一番初めの区民会議だよりになっております。先日委員の皆様にご送らせていただいているものと同じものでございます。今までの紙面づくりから少し変えさせていただきまして、前回の第1回区民会議でも御指摘ありましたとおり、広報として少しでも皆様に見ていただく魅力ある紙面づくりに励んでいきたいと考えているところでございまして、今回、記事を縦書きから横書きに改めております。また、文字のフォントにつきましても少し見やすいフォントに変更し、写真につきましては、それまで少し写りがくすんで暗いようなところもございましたけれども、鮮明な状態に変更しております。

また、お開きいただいて、2ページ、3ページにつきましては、今期、第5期の区民会議を進めていくに当たって皆様の御紹介をさせていただいている紙面でございます。

最後の4ページは、第4期の審議テーマ「子育て家庭と地域をつなぐ人と場づくり」の中で提案された子育てふれあいカフェを实践したものを紹介しています。こちら、前は各部会、運営部会や課題調査部会を御紹介するような紙面にしてございましたけれども、今回は具体的な取組を紹介するような紙面をつくっております。写真なども用いまして、皆様に見ていただけるような形に少しはなったかなというところでございます。また皆様の御意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。以上、3つの案件がございますが、それについて御質問等はございますか。特にございませんか。

それでは、以上で本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。

ほかに皆さんから御意見、御提案はございますか。

それでは、区民会議参与の皆様へ、本日の議論を聞いていただいてお気づきの点とか助言がございましたら、ひとつよろしくお願いいたします。

市古参与 皆さんのお話を伺っておりまして、大変御苦労されながら取り組んで、そして地域の交流を本当に熱心におやりになっているという姿をお聞かせいただきました。私も、実は先日、地元のお祭りでお勝手を一緒にやったんですけれども、そうしましたらある方が、ごみの分け方のときに、いいのよ、全部一緒にしていいから、このごみは後でうちの夫が全部仕分けしますから大丈夫ですと言われて、いろんなやり方が各家庭によってはあるんだなということも、その後のいろんな交流の中で感じることができました。

実は私にはいろんな要望が寄せられるんですけれども、一番多いのが公園とか道路が草ぼうぼうで何とかしてほしいという要望でして、これは道路公園センター所長さんともよ

くお話しするんですけれども、所長さんのほうも、本当に大変な状況なんですよというお話はよくされておまして、市のほうでも維持管理の予算をなかなか思うようにとっていただけないものですから、現場のセンターの方たちが御苦労されている状況だということをお聞きまして、この間の決算審査特別委員会でも、ぜひこういう公園や道路の維持管理の予算をきちんと回すようにというお話もしてきたところです。

そういう状況の中、汚いところにはやっぱりごみも集まるんですね。ですから、皆様の取組と、そして行政がまちをきれいにしながら、一緒になってまちがきれいになればいいなと思いました。また、少し話が飛ぶんですけれども、例えば等々力緑地とか平和公園とか平間公園とか、そういう大きな公園なんかも本当に草がよく伸びるんですね。ですから、ヤギを放ってそして日常的に草を食べてもらう、そういう取組をしている自治体もあるというお話を聞きましたので、中原区の取組としてそんな取組ができると、そこに遊びに来た子どもさん、保育園、幼稚園や、他にどこにも通っていない子どもさんにとっても、ヤギがこんなに公園をきれいにしてくれているということを見ていただくと、苦労もあるかもしれませんが、ちょっと夢もあるのかなと思いますし、他都市で取り組んでかなりいい成果も上げているということなので、こういった取組もしながら、まち全体がきれいになることもいいのかなということをお話を伺いながら感じておりました。

本日も最後まで聞かせていただきまして、本当にありがとうございました。

板倉委員長 押本参与、お願いします。

押本参与 改めまして、こんにちは。本日、我々民主党市議団が市長に要望を行ってきましてことからこの会議に遅参しまして、大変失礼いたしました。

今、議論を聞かせていただいて、本格的にこの5期の区民会議が板倉委員長のもと、第2回区民会議の本格的な検討テーマに沿っての審議がスタートしたんだなと感じているところでございます。また、検討テーマについて、今回は2つに絞るということで、より深い議論が今回はされるのかなと思います。特に課題調査部会が4回続く、そして運営部会が3回続いて取組の結論を出していくということは、前期では、非常にスピード感を持ってできたところもあるかもしれませんが、今期のようにじっくりと構えて検討テーマに向かっているというのはすごくいいことだなと考えております。

その中で、今回「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」という検討テーマでありますけれども、現在、普通ごみの収集が週3回から2回になりまして、皆様の中でもいろいろ意見を聞いている部分があるかと思っておりますし、また市民の皆様も関心が高い分野でもあるのかなと思っております。その中で、今回区民会議でこのテーマを取り上げるということは、ぜひとも皆様の経験や知識を生かして、ふだん取り組まれていないようなことを、4回の課題調査部会、そして3回の運営部会の中でしっかりと課題やそして足りない部分を洗い出させていただいて、本当に区民の皆様のためになるような取組をこの区民会議の中で取り組んでいただきたいなと改めて思ったところでございます。

また、本日含めて第3回、第4回の区民会議を楽しみにしておりますので、今後の皆様の御活躍を期待申し上げまして、一言御挨拶とさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、松川参与、よろしく申し上げます。

松川参与 長時間にわたりまして、大変に貴重な御意見を拝聴させていただきました。ありがとうございました。個人的ではありますが、今回の検討テーマであります「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」というのは大変にいいことだな、すばらしいなど考えています。お話の内容としましては、ごみであったり、環境というようなお話が中心でありましたけれども、ひとつ視点を変えますと、まちが汚いとどうしても犯罪が多くなっていくという実情がございます。これはニューヨーク市でも、割れ窓理論などとよく言いますが、そのようなところで結局ごみが落ちていたり、汚いまちというのはみんなが無関心な町なんだよというところで犯罪が起りやすいと言われていたところがございますので、安心・安全と防犯、そしてまた防火のほうも関係してくると思っておりますけれども、そういう視点からもごみのないまち、きれいなまちというのはつながってくるのではないかなと考えているところであります。

それから、僕もまだまだ詳しくは知らないんですけれども、1つのキーワードとして皆さん考えていただけたらと思うんですけれども、日本スポーツGOMI拾い連盟というのがございまして、ごみ拾いを1つのスポーツにしまして、全国でいろんなイベントをやっているようです。ごみ拾いというのを単なる社会の活動というのみならず、そこにルールを1つつくって、競技として子どもから御高齢の皆さんまで一緒になって楽しみながら競技をしていきたいと思いますというイベントがあるようでございますので、そんなことも含めながら、今後ともいろんな御議論をいただければなと思うところでございます。

きょうは本当にどうもありがとうございました。

板倉委員長 松原参与、お願いいたします。

松原参与 大変貴重な御意見をお伺いいたしまして、ありがとうございました。貴重な御意見というのは、皆様方の実生活の中から感じられること、またお勤め等々の中から感じられていることを、まさに体験としてそれぞれお1人お1人聞かせていただいたということでありまして、その経験がどういう成果を持っているんだということも聞かせていただいて、成果が実際出ているんだよということも聞かせていただいたということで、非常に参考になったところでございます。

また、34項目の美化に関わる取組ということで、それぞれ行政とか区の事例が発表されておりますけれども、私が知る限りでは、これ以外に商店街の個店がやられていたり、一番すごいなと思ったのは、小学生とか中学生、限られた子ではありますけれども、ごみ袋を持って缶を拾ったり、たばこの吸い殻を拾って、これを登下校のときに毎日やっているという子が少なからずいるのを目にしているということでありまして、これはどういう教

育の成果かわかりませんが、自主的にそういったことを進んでやっているお子さんもいるということでございます。

そしてまた、通勤している駅に来る大人の方たちの中でも、駅に来る間に紙袋を持って、空き缶ですとか、たばこの吸い殻等を集めてきて1つにまとめているというようなことも見えていますので、そういったことでまちの環境、美化に関する関心は非常に多くの方が持っているということがわかるんですが、では、自分はどうしたらいいのかと。1人でできるんだけど、これをもう少し何とかみんなでできないかなということで、そのハウツー、どうしたらいいのかなということが、なかなか個人では協力者を求めることができないということですので、きょうのお話の中で、そういった方たちを一人でも多くつくって行って、組織化していくことが今後非常に求められてくるのかなということを感じさせていただきました。

また、行政がやっている34項目について、それぞれの成果が書かれていますけれども、今回、審議テーマが「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」ということで、もっときれいにしなければいけないということでもありますから、今の現状はまだ満足した状況ではないんだよ、もっともっとまちをきれいにしていかなければいけないんだということを、新たにこの場で確認をされたのかなと、そんな思いもしております。

私は、決まったテーマはこれから2年間にわたって推進していただければ非常に素晴らしいと思うのでありますけれども、こういう時期だから、私はその他のほうで防災を取り組むのかなという思いもしております、川崎市としては今防災の見直しを順次進めておりますけれども、それは行政がつくる防災の冊子であるので、では中原区としてはどうなんだ、本当に川崎市がつくるものが中原区に当てはまるのかということについても真剣に討議していかなければいけないのかと思います。万が一のときに、ある体育館にみんなが避難した、あそこに何人避難できるんですか、本当に1万、2万人、あそこに入れるわけではありませんよね。そういったことで、万が一のときには体育館に避難しましょうといったって、じゃ、何人が来るのかということも明確ではないし、これ以上来てはいけませんと断ることもできないわけですから、そういった防災についても、今後本当に大きな地震とか災害、台風等々がいつ来るかわからないという状況の中で、防災についても改めて今後また御議論を賜ればなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、吉岡参与、お願ひいたします。

吉岡参与 大変貴重な御意見を拝聴いたしまして、ありがとうございます。同僚議員がさまざま私の言いたいことをほとんど全て言ってしまいましたので、これ以上のことはなにかと思います。皆さん方の御審議の中で、さまざま深化された内容が、きれいなまち、あるいは闊達なコミュニティが形成されることを念願してやみません。きょうは遅くなりまして大変申し訳ございませんでした。

以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。ただいまの各参与の御意見につきましては、今後の区民会議の運営の参考にさせていただきたいと思えます。

それでは、事務局から何かございましたらお願いいたします。

事務局 次回、第3回の区民会議につきまして、先ほど資料5のスケジュールでも御説明させていただきましたけれども、次回につきましては、年が明けまして、来年の1月16日（金）、22日（木）、23日（金）、26日（月）のいずれかの日の午後の開催を考えているところでございます。また、日程調整をこれからさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと存じます。

また、先ほども委員長のほうから御案内がございましたとおり、本日、区民会議閉会後に、総合企画局から新たな総合計画について説明がございますので、大変恐縮でございますけれども、今事務局のほうで資料を傍聴席の机に並べておりますので、閉会後に委員の皆様におかれましては席をお移りいただければと存じます。よろしくお願ひいたします。

また、先ほど課題調査部会に選ばれた委員におかれましては、部会の1回目の日程調整をさせていただきますので、総合企画局の説明終了後、おおむね4時半ごろと思えますけれども、別室の504会議室に御案内させていただきますので、引き続きお残りいただきまして、日程調整の御協力をいただければと存じます。

事務局からは以上でございます。

6 閉会

板倉委員長 ありがとうございます。委員の皆さんに御協力いただきまして、円滑な議事が進めることができたことに、副委員長ともども深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

これで第2回中原区民会議を閉会といたします。どうもありがとうございました。

午後4時1分 閉 会